

知の森へ2022 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
商学専門	浅井 義 裕	ファイナンス&インシュアランス	保険リスクマネジメント論	セイヴィング・キャピタリズム	ラグラム・ラジャン レイジ・ジンガレス	慶應義塾大学	2006年	少し古いのですが、金融や保険を勉強することの面白さを教えてくれる本だと思います。
	朝岡 大 輔	ファイナンス&インシュアランス	コーポレート・ファイナンス	ブラック・スワン(上)(下)	ナジーム・ニコラス・タレブ著 望月衛訳	ダイヤモンド社	2009年	これから世界に出ていくにあたって、自分の頭で考えることの大切さと人間の知の可能性を教えてくれる本。
	井上 達 樹	アブライド・エコノミクス	経済史	歴史は実験できるのか: 自然実験が解き明かす人類史	ジャレド・ダイヤモンド、ジェイムズ・A・ロビンソン 編著 小坂重理 訳	慶應義塾大学出版会	2018年	因果推論の水準を飛躍的に向上させた「自然実験」により歴史を解き明かす良書。歴史研究の可能性が感じられます。
	小川 智 由	マーケティング	物的流通論	フレゼール博士のサプライチェーン戦略	エドワード・H・フレゼール著 小川智由監訳	ダイヤモンド社(流通選書)	2018年	ロジスティクスならびにサプライチェーン戦略に関して包括的、体系的に学ぶための好適書として推薦する。
	小田 康 治	アカウンティング	業績管理会計論	ドラッカー365の金言	P.F.ドラッカー著 ジョセフ・A・マチャレロ編 上田博生訳	ダイヤモンド社	2005年	本自身が「日めくりカレンダー」。1日1頁の読書。1年後には諸君の「眼差し」が大きく変わるであろう。
	小原 英 隆	ファイナンス&インシュアランス	金融総論、金融論	20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義	ティナ・シーリング	CCCメディアハウス	2010年	スタンフォード大学の起業家養成講座の内容を分りやすく書き記した。柔軟な発想、失敗の教訓ノート等。これはゼミでやる事の見本ではない。取ってゼミや講義でやらない事のお薦めを挙げている。
	恩田 睦	マーケティング	都市・地域交通論	スモール イズ ビューティフルー人間中心の経済学	E・F・シューマッハー	講談社学術文庫	1986年	豊かな国、豊かな社会とはどのようなものかを考える一助にしてください。
	加藤 達 彦	アカウンティング	監査論	つきあい方の科学	R・アクセルロッド	みすず書房	1998年	不正の原点は、日常の何気ない行動まで説明できる、ある原理にあるかもしれません。お互い騙されないように。
	神田 良 介	アカウンティング	税務会計論	若き世代に語る日中戦争	伊藤桂一(著)、野田明美(聞き手)	文春新書	2007年	かつて兵役は、日本の成年男子の義務でした。その務めを七年に亘って果たした詩人が語ります。今日「戦争体験者」を自称する世代には、決して語り得ない内容です。
	菊池 一 夫	マーケティング	商業経営論	アフターデジタル	藤井保文・小原和啓	日経BP社	2019年	私たちはインターネットに常時接続可能な時代の中で暮らしています。リアルで生活していてもネットと数多くの接点をも生活しています。こうした消費者の生活の変化に企業はどのように対応するのかを示したユニークな書物です。
	久保 隆 光	マネジメント	労使関係論	若者と労働	濱口桂一郎	中央公論新社	2013年	新卒採用、就活の視点から日本企業での働き方の特徴を教えてくださいます。
	熊澤 喜 章	アブライド・エコノミクス	中小企業論	インドへの道	E・M・フォスター	ちくま文庫	1994年	どうしても分かり合えないイギリス人とインド人。植民地エリート的心境とイギリス人・インド人双方の偏見を見事に描く作品です。
	小林 尚 朗	グローバル・ビジネス	貿易政策論	「人間国家」への改革 一参加保証型の福祉社会をつくる一	神野直彦	NHKブックス	2015年	ビジネスや経済について一通り勉強したら読んでもらいたい本です。さらに「前へ」進むために。
	小林 一	マーケティング	マーケティング管理論	情報生産者になる	上野千鶴子	ちくま新書	2018年	大学の学びは高校までと何が違うのでしょうか。この本の著者は、それを次のように言っています。もはや勉強(しめてつとめる)することではなく、学問(まんでとう)することが必要である。著者は、そうした人を情報生産者と呼んでいます。どうしたら「情報生産者」になれるのか。その手引きを書いたものです。
	塩澤 恵 理	グローバル・ビジネス	グローバル・ビジネス英語	What I Wish I Knew When I Was 20	Tina Seelig	Harper Collins	2009年	ビジネスの場面にとどまらず、日常において生きる姿勢・やる気を起こさせるインスピレーションな人生の指南書。
	篠原 敏 彦	グローバル・ビジネス	貿易商務論	地球市場時代の企業戦略(翻訳)	C.A.バートレット/S.ゴシヤール著 吉原英樹訳	日本経済新聞社	1990年	グローバル化時代の企業、特に多国籍企業の経営戦略に関する研究の先がけ的な名著。
	高橋 昭 夫	マーケティング	商品学	社会が変わるマーケティング 一民間企業の知恵を公共サービスに活かす	フィリップ・コトラー/ナンシー・リー著 スカイライト・コンサルティング訳	英治出版	2007年	ソーシャル・マーケティングの今日的意義を検討してみよう。
	高浜 光 信	アブライド・エコノミクス	国際経済学	経済政策で人は死ぬか? : 公衆衛生学から見た不況対策	デヴィッド・スタックラー/サンジェイ・パス著 橋本美/臼井美子訳	草思社	2014年	経済政策の結果、人が死ぬこともあるのです。
	竹村 正 明	マーケティング	商業総論	コルナイ・ヤーノシュ自伝: 思索する力を得て	コルナイ・ヤーノシュ	日本評論社	2006年	資本主義は内在する問題で自壊すると言われますが、他方で、では共産主義はどうだといえ、その内在する問題として弱い予算制約があるのです。どちらも予想外の結果になるのですが、そうであれば、どちらがましか、という選択なのです。そして後者は破壊への道を舗装して花道で飾っていることで、熱いハトスによる思い出の裏切りなのです。
	千田 亮 吉	アブライド・エコノミクス	ミクロ経済学 マクロ経済学	法と経済で読みとく雇用の世界 一働くことの不安と楽しみ 新版	大内伸哉/川口大司	有斐閣	2014年	法学という異分野との対比で経済学への理解が深まり、また雇用問題を複眼的にとらえることができる。
千葉 修 身	アカウンティング	簿記学 原価計算論	会計学本質論	宮上 一男	森山書店	1980年	会計は他の社会科学にはない特異な性質をもつ。形式こそが実質。その極意を本書で会得しよう。目から鱗。	
土屋 陽 一	ファイナンス&インシュアランス	金融論	計量経済学	西山慶彦, 新谷元嗣, 川口大司, 奥井亮	有斐閣	2019年	データを分析する力を身につけましょう。	
出見世 信 之	マネジメント	経営哲学 企業と倫理	実力も運のうち-能力主義は正義か?	マイケル・サンデル	早川書房	2021年	本書は、現代アメリカにおける格差や分断などの課題について、能力主義という観点から考察している。日本企業においても、しばしば能力主義の導入が求められているが、本書は、それによりどのような課題が生じるようになるのか、また、導入に反対する人はどのような考えを持っているのかを理解するのに役立つ。	

知の森へ2022 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
商学専門	富野貴弘	マネジメント	生産管理論	人工知能はなぜ椅子に座れないのか・情報化社会における「知」と「生命」	松田雄馬	新潮社	2018年	AI(人工知能)の本質について論じている良書。世に溢れる浅薄な議論に感わされないためにも読んでほしい。
	中林真理子	ファイナンス&インシュアランス	保険学	日本商法・保険学バイオニア 志田紳太郎の生涯	志田俊郎	文芸社	2015年	研究分野としての保険学の重要性と、明治大学商学部で学んでいることの意味を再認識できる一冊です。
	名越洋子	アカウンティング	会計情報論	新・現代会計入門	伊藤邦雄	日本経済新聞出版社	2014年	ビジネスパーソン向けの会計入門書と釘打っているものの、レベルは高い。しかし、具体的な事例が豊富で、現実の仕事をする上での会計の意識が高まる。ビジネスパーソンの立場を経験することもできる。
	奈良沙織	アカウンティング	企業評価論	新・企業価値評価	伊藤邦雄	日本経済新聞出版社	2014年	具体的なデータや事例を多く扱っており、理論とともに日本企業の現状も学べる良書。
	野田顕彦	ファイナンス&インシュアランス	証券市場論	ウォール街のランダム・ウォーカー原著第12版	バートン・マルキール著、井手正介訳	日本経済新聞出版社	2019年	株式投資に関する名著です。大学を卒業するまでに一度は読んでみることをおすすめします。
	萩原統宏	ファイナンス&インシュアランス	金融取引論	日本でいちばん大切にしたい会社(シリーズ)	坂本光司	あさ出版	2008年～	「会社とは何か」「働くとはどういうことか」などについて、多くのメッセージを含んだ本です。
	畑農鋭矢	アプライド・エコノミクス	公共経済学 財政学	ポール・ローマーと経済成長の謎	デヴィッド・ウォルシュ	日経BP	2020年	経済成長理論を革新したローマー理論の誕生ストーリー。第1部でローマー以前、第2部でローマー以後を。
	原頼利	マーケティング	流通システム論	市場を創る:バザールからネット取引まで	ジョン・マクミラン 瀧澤弘和/木村友二訳	NTT出版	2007年	市場がどのように機能するのかということの問題とし、市場が機能する上で制度の重要性について述べている。
	福田康典	マーケティング	市場調査論	社会のイメージの心理学	池田謙一	サイエンス社	1993年	商学に関わる現象がいかに曖昧でもろく、見る側によって干渉されているのかを理解するための入門書です。
	藤井秀登	マーケティング	交通論 観光事業論	焚書坑儒のすすめ -エコノミストの恣意を思惟して	西部邁	ミネルヴァ書房	2009年	市場(経済)を正確に認識するためには、歴史感覚を磨くことが大事だとあらためて教えられます。
	藤井陽一朗	ファイナンス&インシュアランス	損害保険論	リスク、不確実性、そして想定外	植村修一	日経新聞社出版	2012年	リスクとは何か、リスクをいかにコントロールするかを多くの事例から解説しています。
	前田陽	アカウンティング	意思決定会計論	コストデザイン:トヨタ/研究者の実践コミュニティ理論	岡野浩/小林英幸 編	大阪公立大学共同出版会	2015年	原価企画を生み出したトヨタ自動車の技術者たちが当事者の目から開発・設計を論じている貴重な書籍です。
	町田一兵	マーケティング	国際交通論	Door to Door	Edward Humes	Harper Collins Books	2016年	ジャーナリストが書いた本で、今の世界をモノの輸送という視点で分かり易く説明してくれる一冊です。
	松原有里	アカウンティング	租税法	国際租税法(第3版)	増井良啓/宮崎裕子著	東京大学出版会	2015年	国家間の課税競争が企業や人々の行動にどのような影響を及ぼすか、この本でよく理解できると思います。
	水野勝之	アプライド・エコノミクス	計量経済学	ソフト経済小説で読む超高齢化社会	水之夢端/椋田揆	晃洋書房	2018年	小説を読みながら経済学が学べる。新しい形の経済書である。
	水野誠	クリエイティブ・ビジネス	クリエイティブ・マーケティング論	ビット・バイ・ビット--デジタル社会調査入門	マシュー・J. サルガニック	有斐閣	2019年	デジタル化の進展とともに登場した「計算社会科学」に関する最新の教科書。商学の世界も無縁ではない。
	三和裕美子	ファイナンス&インシュアランス	機関投資家論	敗者のゲーム	チャールズ・エリス著 鹿毛雄二訳	日本経済新聞社		「敗者のゲーム」とは市場に勝つために無駄な努力をすること。この本は、証券投資の哲学、そして長期的な資産運用の戦略と指針を示しています。
	村田潔	マネジメント	経営情報システム論	監視資本主義:人類の未来を賭けた闘い	ショシャナ・ズボフ	東洋経済新報社	2021年	巨大ICT企業を中心とする現在の企業のビジネスモデルの特徴と、その社会的問題点について考えるための視点を与えてくれます。
	山下洋史	マネジメント	情報管理論	あいまい工学のすすめ -新しい発想からの工学	寺野寿郎監修	講談社(ブルーバックス)	1981年	人間や組織の意思決定における情報のあいまいさをどのように取り扱うかを解説した入門書です。
	山田知明	アプライド・エコノミクス	経済学 経済政策論	良き社会のための経済学	ジャン・ティロール	日本経済新聞社	2018年	ノーベル経済学賞を受賞した著者による共通善(Common Good)のあり方と経済学の役割を語った名著。
山本昌弘	アカウンティング	国際会計論	会計制度の経済学	山本昌弘	日本評論社	2006年	会計学と経済学のコラボレーションを目指してグローバルかつ学際的な視点から書き下ろした書物です。	
山本雄一郎	グローバル・ビジネス	ビジネス英語	大学生のための交渉術入門	野沢 聡子	慶應義塾大学出版会	2017年	大学生活における身近な例を取り上げ、友達や周囲の人々とのように考え、話し合うべきかのヒントがある。	

知の森へ2022 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

	氏名	コース名等	主担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
総合学際	浅 賀 宏 昭	総合教育科目(人間と自然)	生命科学 バイオテクノロジーとバイオビジネス	遺伝子医療革命ーゲノム科学がわたしたちを変える	フランシスコ・S・コリンズ著 矢野真千子・訳	日本放送出版協会	2011年	近未来の「パーソナルゲノム医療」について、ユーマも交えて解き明かしている点がすばらしい本です。
	浅 間 哲 平	外国語科目(フランス語)	フランス語	泥棒日記	ジャン・ジュネ	新潮文庫	1968年	泥棒に代表される犯罪者が、社会に包摂されずに生きるとはどのようなことなのか、考えさせられます。
	石 黒 太 郎	外国語科目(英語)	英語	あいつと私	石坂洋次郎	新潮文庫	1967年	小説の中ではあるが半世紀前の学生像と自分の大学生活を比べてみよう。大学を卒業してから後悔しないよう。
	石 出 靖 雄	総合教育科目(文化と芸術)	日本語表現論	日本語表現学を学ぶ人のために	糸井通浩/半沢幹一	世界思想社	2009年	日本語表現を学ぶための入門書。日本語表現研究の現在が一覧できます。
	泉 順 子	外国語科目(英語)	英語	音楽と社会	D.パレンボイム/エドワード・W. サイード著 中野真紀子訳	みすず書房	2004年	音楽と文学と社会についての対話から、ぜひ感性をさらに研ぎ澄ましてみてください。
	井 関 睦 美	外国語科目(スペイン語)	スペイン語	認知意味論ー言語から見た人間の心	ジョージ・レイコフ著 池上嘉彦/河上誓作訳	紀伊国屋書店	1993年	人間の思考の仕組みを、認知科学の視点から分析した研究書。日常使う言葉一つ一つに新たな発見があるはず。
	小 澤 央	外国語科目(英語)	英語	罪と罰 上・下	ドストエフスキー著 工藤精一郎訳	新潮社	1987年	リアルな心理描写とともに展開する青年の物語が、正義とは何か、人生をいかに生きるべきかを問いかける。
	海 田 皓 介	外国語科目(英語)	英語	発想法	川喜田二郎	中公新書	1967年	情報をまとめ、アイデアを練る方法を教えてくれます。
	鴨 井 祐 二	総合教育科目(人間と自然)	線型数学 解析数学	ゲームの理論と経済行動 I,II,III	J.フォン・ノイマン/ O. モルゲンシュテルン著	ちくま学芸文庫	2009年	原典を読むといろいろ学べます。
	川 口 啓 太	保健体育科目	体育・スポーツ実習	スポーツを考えるー身体・資本・ナショナリズム	多木浩二	筑摩書房	1995年	スポーツは身体での表現、競争の非暴力モデル、消費そして平和。今、スポーツに何を問うか、考えましょう。
	北 田 葉 子	総合教育科目(文化と芸術)	西洋文化史	嘘と貪欲 西欧中世の商業・商人観	大黒俊二	名古屋大学出版会	2006年	商業はかつては軽蔑されていた！蔑視されていた商業が認められていく過程、そして利子や為替、公正価格などについてのキリスト教の思想家たちによる議論。壮大な商業の精神史を知ってほしい。
	黒 崎 典 子	外国語科目(日本語)	日本語	言語の脳科学-脳はどのようにことばを生みだすか-	酒井邦嘉	中公新書	2002年	言語学と認知脳科学。幅広い分野を勉強することが、より深い学びへ繋がると実感できる一冊。
	コヴァリク、ユタ	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	テロ	フェルディナント・フォン・シーラッハ	東京創元社	2016年	あるテロ事件を阻止したパイロットの行動についての法廷小説です。有罪か無罪か？ふたとおりの判決が用意されています。自分で判決を！
	小 宮 彩 加	外国語科目(英語)	英語	大いなる遺産	チャールズ・ディケンズ著 山西英一訳	新潮文庫	1951年	イギリスを代表する十九世紀の小説家ディケンズの晩年の傑作。立派な紳士になりたいピップの成長の物語。
	今 野 史 昭	外国語科目(英語)	英語	冬物語	ウィリアム・シェイクスピア著 松岡和子訳	筑摩書房(ちくま文庫)	2009年	喜劇や悲劇とは一味違うシェイクスピアのロマンス劇。驚きと感動の結末が待っています。
	佐々木 美 加	総合教育科目(人間と自然)	心理学	未来の働き方を考えよう	ちきりん	文春文庫	2015年	一橋大卒、日興証券を経てHAASでMBA取得マッキンゼー、コンサル設立した伊賀泰代氏著と言われている。
	澤 井 和 彦	保健体育科目	体育・スポーツ実習	大相撲の経済学	中島隆信	筑摩書房	2008年	相撲の八百長にはきちんとした理由がある・・・精神論ではない経済的根拠に基づく本質的な議論のために。
	清 水 克 行	総合教育科目(文化と芸術)	日本文化史	一揆	勝俣銀夫	岩波新書	1982年	中世に生きた人々の思想と行動力を社会史的手法で分析した名著！
	清 水 真 木	総合教育科目(人間と自然)	哲学	流れとよどみー哲学断章	大森荘蔵	産業図書	1981年	身近な事柄を手がかりに哲学固有の問題領域を切り拓くエッセー集。
	瀧 口 美 香	外国語科目(英語)	英語	ムネモシュネー文学と視覚芸術との間の平行現象	マリオ・プラーツ著 高山宏訳	ありな書房	1999年	芸術作品とは宇宙に存在するものの中で唯一、内的調和を持つもの。その豊かさの一端に触れてみたい人へ。
敦 賀 公 子	外国語科目(スペイン語)	スペイン語	ラテンアメリカ500年ー歴史のトルソー	清水透	岩波書店	2017年	ラテンアメリカの「発見」から現代までの約500年の歴史をわかりやすく解説し、今日的諸問題を問い直す。	
鳥 居 高	総合教育科目(地域と社会)	アジア史 東南アジア政治経済論	一世界ーを変えた<標準革命>ー	橋本毅彦	講談社 学術文庫	2013年	「標準化」をキーワードにして、ものづくりの歴史を描いた名著。もの作りの新しい側面がわかります。	

知の森へ2022 商学部2年生・3年生・4年生に薦めるこの1冊

	氏名	コース名等	担当科目	書名	著者名	出版社	出版年	推薦教員からのコメント
総合学際	永井善久	総合教育科目(文化と芸術)	日本近代文学	新版 文学とは何か	テリー・イーグルトン著 大橋洋一訳	岩波書店	1997年	名著として知られる文学理論書です。併せて現代思想をわかりやすく解説しています。卒業までには是非一読を！
	中川秀一	総合教育科目(地域と社会)	地理学 産業立地論	新しい地域をつくる。持続的農村発展論	小田切徳美	岩波書店	2022年	衰退する地方や農村の再生こそが日本社会の新たな展望を切り拓く鍵となるだろう。そのための可能な道筋を多角的に論じている。
	中島渉	外国語科目(英語)	英語	面接の達人シリーズ	中谷彰宏	ダイヤモンド社		就職したけりやこれを読め。...とは言わないが、職を得るために必要な作法は学んでおいた方がいいだろう。
	中村成里	総合教育科目(文化と芸術)	日本古典文学	青の海	三島由紀夫	新潮社	1977年	成就し得ない恋、交錯する感情、発せられないままに消えた言葉。自分が何を恐れているのか考えてみませんか？
	西山春文	総合教育科目(文化と芸術)	日本近代文学	海も暮れきる 新装版	吉村昭	講談社文庫	2011年	「咳をしても一人」—極限状況から生まれる簡素な言葉の力。でも、まねしないで下さい。
	久松健一	外国語科目(フランス語)	フランス語	文学研究という不幸	小谷野敦	ベスト新書	2010年	文学(研究)なるものを麗々しく崇め、奉る御仁への警鐘として。皮肉と悪意に満ちた言い回しの数々も、ここまできるとまさに一つの立派な「芸」。
	広沢絵里子	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	教養のドイツ現代史	田野大輔・柳原伸洋(編著)	ミネルヴァ書房	2016年	現代ドイツに関する多数の映画作品や音楽などが紹介されています。図書館で手に取ってみてください。
	藤田結子	総合教育科目(地域と社会)	社会学	ヤバい社会学 一日だけのギャング・リーダー	スティーヴル・ヴェンカテッシュ	東洋経済新報社	2009年	院生が論文作成のため、シカゴの麻薬売人ギャングに入り込んだ体験談。臨場感あるリアルな「参与観察」の書。
	洞口拓磨	総合教育科目(人間と自然)	物理学	春風夏雨(角川ソフィア文庫)	岡潔	角川書店	1969年	「人の情緒は固有のメロディーで、その中に流れと彩りと輝きがある」数学者である著者が、学問における情緒の大切さを教えてくれます。
	松原陽子	外国語科目(フランス語)	フランス語	富士山の文学	久保田淳	角川ソフィア文庫	2013年	富士山が文学作品において、どのように描かれてきたのか知ることができます。
	水谷尚子	外国語科目(中国語)	中国語	夕暮れに夜明けの歌を 文学を探しにロシアに行く	奈倉有里	イーストプレス	2021年	ロシア語翻訳者が記した留学体験。言語の学習と習得は、知らない世界を知り、人と人を繋ぐ手段となりうる。留学記にとどまらない深い社会観察眼に圧倒される。
	三田剛史	外国語科目(中国語)	中国語	脱=社会科学	イマニュエル・ウォーラーステイン	藤原書店	1993年	原著出版から30年を経て、今もなお19世紀社会科学が生き延びているのはなぜか。
	森永由紀	総合教育科目(人間と自然)	自然科学概論 環境科学	論文捏造	村松秀	中央公論新社(中公新書ラクレ)	2006年	史上空前の捏造、米国ベル研シェーン事件について綿密な取材を元に書かれた本。読み終わるまで眠れません。
	李英美	外国語科目(朝鮮語)	韓国語	韓国のキリスト教	柳東植(ユドンシク)	東京大学出版会	1987年	なぜ、韓国にはキリスト教徒が多いのか。その史的背景と特徴を知ることを通して、現代韓国社会を理解する。
ルブレクト、ブライアン G.	外国語科目(英語)	英語	Illusions: The Adventure of a Reluctant Messiah	Richard Bach	Arrow Books Ltd.	1977年(2001年)	ほとんどのアメリカ人はこの本を知っています。多くのインスピレーションを与える本です。	
渡辺徳美	外国語科目(ドイツ語)	ドイツ語	ぼくの兄の場合	ウーヴェ・ティム	白水社	2018年	ドイツの人気作家は2003年、19歳で武装親衛隊として戦死した自分の兄と家族について書き、「ナチズムの過去」と「戦後の記憶」に関する様々な問いを読者に投げかけている。	